

(3) 幼稚園から高等学校までの子どもの市民性育成に関する研究 —カリキュラム分析と開発—

医療福祉学部 医療保育学科 教授 中原朋生

(1) リサーチ・クエスションと研究の概要

筆者は教育学，特にカリキュラム編成論を専門としている．大学院時代から30年以上，「子どもたちに民主主義社会を担う市民性を育成するカリキュラムはいかにあるべきか」という規範的リサーチ・クエスションを探究してきた．

特に世界で初めて成文憲法を制定したアメリカ合衆国における子どものための憲法教育に注目し，幼稚園から高等学校まで展開される憲法教育の目標・内容・方法のあり方を，全体計画と単元指導計画の二つのレベルから分析を行ってきた．さらにアメリカ合衆国の憲法教育の分析から理論を抽出し，それを応用した日本の憲法教育の単元開発も行ってきた．

(2) 研究の方法

①事実確定（どうなっているか？）

全体計画・教科書・教師用指導書を分析し，憲法教育カリキュラムの目標・内容・方法の事実確定を行う．

②理論抽出（なぜ，そうなっているのか？）

事実確定の後に，なぜそのような目標・内容・方法となっているのか，背景にある教育理論を抽出する．

③評価考察（どのような意義があるのか？）

抽出された憲法教育カリキュラムの理論が，現状の日本の憲法教育にどのような意義があるのかを評価し考察する．

④理論応用（どうするのか？）

抽出された憲法教育カリキュラムの理論を応用した日本の憲法教育のカリキュラム開発を行う．

(3) 研究成果

筆者はアメリカ合衆国の憲法教育カリキュラムの分析研究の成果を著書¹⁾にまとめた．さらに近年は上記の方法を応用し，市民性育成を目標とするニュージーランドの乳幼児教育カリキュラム『テ・ファーリキ』に関する研究²⁾も展開している．講演ではこの二つの研究成果を中心に報告する．

1) 中原朋生『現代アメリカ立憲主義公民学習論研究—幼稚園から高等学校までの子どもの市民性育成—』風間書房2015.

2) 大橋節子・中原朋生・内田伸子・上田敏丈監訳編著『テ・ファーリキ（完全翻訳・解説）—子どもが輝く保育・教育のひみつを探る—』建帛社2021.